

事務事業名		矢高共同調理場設備更新事業			会計	一般会計				
課等名		学校教育課 係等名 保健給食係			事業種別	政策	開始	22	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
	施策	22	義務教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	調理場・児童・生徒			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	学校給食を、円滑に献立通りに提供する				矢高共同調理場の担当する児童生徒数			4849	
	向上させたい上位施策の成果指標	学校が楽しいと感じている児童生徒 ア)小学生 イ)中学生				配食担当校			9	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	設備故障等で給食が提供できなかった日数			0	0	0	0		
	成果指標	食中毒等事故発生件数			0	0	0	0		
定性目標										
事業概要	<p>○飯田市の約6割の学校給食を調理する矢高共同調理場は、平成8年度開設で17年経過し大半の設備が更新時期を迎えている。 ○6000食対応の大規模機械が設置されており、故障時の修理が容易でないことと人力作業での補完が困難なことを考慮すると設備更新が急務である。 ○緊急度の高い設備から更新していく。23年度から更新した設備と今後更新予定の設備は以下の通り。 ①システム洗浄機オーバーホール(H23終了) ②棚回転保管機オーバーホール(H23終了) ③蒸気ボイラー更新(H24終了) ⑤連続フライヤー更新 ⑥コンベヤ式焼物機更新 ⑦エアハンドリングユニット保温工事 ⑧污水处理施設空気配管交換 ⑨調理場内給水管交換 ⑩コンテナ洗浄機オーバーホール ⑪冷凍室・冷蔵室更新 ⑫冷蔵庫・冷凍庫・ブラストチラー(瞬間冷却器)更新 ⑬空調設備更新</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	蒸気ボイラー・温水ボイラー・軟水装置の交換 ・火入れ後17年経過し、応急修理ができない故障発生リスクが増大、蒸気ボイラー3台中1台の出力低下もあり優先して更新した。 ・蒸気ボイラー3台体制から、高出力省エネタイプ2台体制に変更、1台が故障しても残り1台の稼働により給食提供に支障を来さない設備に更新した。				更新工事数			1カ所		
	事業コスト					23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		35,175	26,870	26,870	26,739	電源立地地域対策交付金				
国庫支出金				9,902						
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		35,175	26,870	16,968	26,739					
人件費計(千円)②		286		286						
正規職員所要時間		80		80						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		35,461	26,870	27,156	26,739					
事業内容・目標達成状況の振り返り	ボイラー設備の更新により、熱源不良による事故防止対策ができた。									
改革改善の考え方	①問題点	プレハブ冷蔵庫、真空冷却機ほか、故障の危険を抱えた設備機器が増えてきている。23年度に棚回転食器消毒保管機が更新前に故障し給食提供に影響を与えた。								
	②改革提案	夏期休業、年度末休業期間でできる更新事業を、事故発生前に実施していく。								